

2013年9月13日

各 位



薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 0 7 1 6

「レキップCR錠2mg」の入院・外来院内オーダ開始について

ドパミンD₂受容体系作動薬「レキップ錠0.25mg、1mg」（グラクソ・スミスクライン）は、薬事委員会にて、徐放性製剤である「レキップCR錠2mg」（グラクソ・スミスクライン）と交換採用になりました。

平成25年9月13日（金）より「レキップCR錠2mg」の入院・外来院内オーダを開始します。「レキップ錠0.25mg」は既に院外専用薬品となっていますが、「レキップ錠1mg」は、薬剤部の在庫がなくなり次第、院外専用薬品とします。

	入院・外来院内オーダ開始	院外専用へ
オーダ名	レキップCR錠2mg	レキップ錠0.25mg、1mg
成分名	ロピニロール塩酸塩	
規格	2mg／錠	0.25mg／錠、1mg／錠
適応症 用法用量	パーキンソン病：成人には1日1回2mgから始め、2週目に4mg／日とする。以後経過観察しながら、必要に応じ、2mg／日ずつ1週間以上の間隔で増量。いずれの投与量の場合も1日1回経口投与。年齢、症状により適宜増減、1日量16mgを超えない	パーキンソン病：成人には1回0.25mg1日3回から始め、1週毎に0.75mg／日ずつ増量し、4週目に1日量を3mgとする。以後経過観察しながら、必要に応じ、1.5mg／日ずつ1週間以上の間隔で増量し、維持量（標準1日量3～9mg）を定める。いずれの投与量の場合も1日3回に分け経口投与。年齢、症状により適宜増減、1日量15mgを超えない
外観写真		
区分	処方／共通 平成25年9月13日（金）より 入院・外来院内オーダ開始	処方／院外 レキップ錠0.25mgは院外専用薬品 レキップ錠1mgは薬剤部在庫がなくなり次第 院外専用薬品へ